

総合内科

■北川 泉 総合内科主任部長

日本内科学会認定医,
日本内科総合内科専門医・臨床研修指導医,
日本高血圧学会専門医, 日本循環器学会専門医,
日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医

■小林 修三 副院長, 腎臓病総合医療センター長, 内科統括責任者, 検査部長

日本内科学会認定医,
日本腎臓学会指導医・専門医,
日本高血圧学会専門医 (FJSH) 指導医,
病態栄養学会専門医, 日本透析医学会指導医

■賀古 眞 臨床研修センター長, 消化器病センター長

日本肝臓学会認定肝臓専門医,
日本消化器病学会認定消化器病専門医,
日本消化器内視鏡学会認定専門医,
日本内科学会認定内科医
日本人間ドック学会認定人間ドック認定医

■ジョエル ブランチ 臨床研修アドバイザー

■中川 佳子

日本内科学会認定医,
日本内科学会総合内科専門医

■谷川 徹也

日本内科学会認定医, 日本救急医学会専門医
日本内科学会, 日本救急学会,
日本プライマリ・ケア学会認定医

■西口 翔

日本内科学会認定医,
日本内科学会総合内科専門医
日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医

■十倉 満

日本内科学会認定医

■伊藤 亮治

日本内科学会認定医

■富山 周作

日本内科学会認定医

■渡邊 晋二

■上原 幸治

■関 健一

■西増 理絵子

■熊谷 知博

■清水 大

■新津 敬之

■平田 有美恵

■天目 純平

■宮園 翔

はじめに

当院の総合内科は2005年4月より, 内科統括部長小林修三副院長のもと北川泉, 守矢英和が内科部長に就任し, 新体制でスタートしました. それまでの内科診療行為は, 昭和63年11月の当院開設時には「内科」として内科全般を担当していました. その後日々細分化, 向上化されていく医学知識や医療技術に対応していく必要性から, 一般内科を担当する科以外に, 新たに神経内科, 腎臓内科, 血液内科, リウマチ科などの各専門内科を標榜する科が新設されていきました. しかし専門内科必要性が進んでいく中, 救急病院でのニーズに応じる形で, 臓器にこだわらず全人的医療を中心とした医療を率先し, そしてそれぞれの専門内科と連携を持ちながら内科を取りまとめる科として, 当総合内科は誕生しました. 我々内科医全員は, 「specialistである前にgeneralistであれ」という精神を大事にしています.

当科の特色と活動

外来診療，入院診療，研修医教育を3本柱とし，全人的医療を心がけております。最先端の専門分化の進んだ現代医療の狭間といえる部分も大事にしながら，患者さん中心の医療を行っていく理想の医師像を追求していこうと日々努力しております。私たちは総合内科のみで患者さんが本当に満足できる医療を提供できるとは考えてはいません。総合内科と専門内科がうまくかみ合っこそ初めて，患者さんが本当に満足できる医療の提供が達成できるものと思っております。外来診療においては，当科は内科新患外来を担当することにより，「内科」の外来を担っております。現在では，総合内科のみならず専門内科の先生方も内科と顔である内科外来を皆で担っております。夕診も同様に対応しております。また当科ではER，他科からのコンサルト，他院からの直接の窓口も担っております。入院においては，専門的な診断，治療が必要な場合は，各専門医の協力，指導を受けることができるスタイルをとっています。一方，研修医教育においては，臨床教育指導医のブランチ先生との討論が行われており，また国内外の優れた指導医を多く招待し，病棟回診，症例検討，医学講義も行っています。一流の臨床家の診療技術や技能に接する中で，より新しい価値感による知的刺激を受けながら，常に診療の質を高める努力をしています。2005年に設立して以来，まだまだ試行錯誤の連続ではありますが，今後もより良いものを取り入れ成長し，世界に向けて情報を発信していきたいと思っております。

過去から2013年度までの歴代チーフレジデントの動き

2005年総合内科が誕生してから歴代チーフレジデントは，2007年岡村暢人，2008年の福田真，2009年

阿多智之，2010年度は川島彰人，2011年度は西口翔が担当しました。2012年度は，チーフ不在の年となりました。2013年は十倉満，和足孝之，渡辺貴之の3人がチーフレジデントとなり，年間一人体制であった制度を分割する形にした最初の年となりました。また，総合内科としては2012年に内科後期研修センターが設立され，賀古眞先生がセンター長となりました。内科後期研修センターは，「内科全体として後期研修医を育てること」をコンセプトとして新しく立ち上がりました。

2013年の学術業績

(1) 論文発表

1. 稲田悠，堤大夢，守矢英和，小林修三（司会 菅波由有）. 臨床セミナー 運動中に意識障害と痙攣を生じる. 日経メディカル 2013年1月；89-95.
2. 北原理（司会 菅波由有）. 66歳男性公園で2回起立失神. 日経メディカル 2013年4月；545：72-74.
3. 西口翔，徳田安春. 症状からみた合併疾患の鑑別 呼吸困難. 臨床婦人科産科 2013年4月；第67巻4号：別刷.
4. 西口翔，稲田悠，角谷拓哉，菅波由有，北川泉，川田純也. B型インフルエンザとマイコプラズマの混合感染で発症した抗ガラクトセレブロシド抗体陽性Guillan - Barré症候群. 日本内科学会雑誌，2013年5月；第5号：別刷.
5. 角谷拓哉（司会 北川泉）. 臨床セミナー 診断に苦慮した不明熱の一例／セミナー 巨細胞性動脈炎(CGC)とは. 日経メディカル 2013年5月；第546号：107-112.
6. 北川泉. 降圧治療における配合剤の使い方. レジデントノート増刊 2013年；No.14（増刊）：19-254.

7. 北川泉. メディクイズ 56歳男性, 全身倦怠感, 発熱, 腰痛. 日経メディカル 2013年11月;2013年11月号:67-68.
 8. 稲田悠, 船木裕, 西野宏一, 杉本栄康(司会 十倉満). CASE STUDY 腰背部痛を訴え救急搬送された女性. 日経メディカル 2013年12月;2013年12月号:103-106.
- (2) 学会発表
1. 稲田悠, 堤大夢, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 痙攣発作を呈した運動誘発性低Na血症に対しTolvaptanが奏功した1例. 第594回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 2.
 2. 宮本直輝, 西野宏一, 魚嶋晴紀, 北川泉, 賀古眞: 肺アスペルギローマによる咯血を繰り返し治療に難渋した1例. 第595回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 3.
 3. 西口翔, 佐藤友英, 中川佳子, 菅波由有, 北川泉, 徳田安春: 尿路結石によるUrosepsisに対する早期尿管ステント留置の入院期間短縮への有効性. 第102回日本内科学会総会, 東京, 2013, 4.
 4. 照井仁, 久米菜央, 西口翔, 石岡邦啓, 菅波由有, 北川泉, 小林修三: 当院にて診断に至ったパラチフスの一例. 第596回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 5.
 5. 西野宏一, 佐藤友英, 菅波由有, 北川泉, 川田純也: 上向き垂直性眼振を呈したウェルニッケ脳症の一例. 第596回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 5.
 6. 稲田悠, 上原幸治, 西口翔, 中川佳子, 菅波由有, 北川泉: ガサノキサシンによる薬疹症状で受診し肺塞栓症の診断に難渋した1例. 第598回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 7.
 7. 谷川徹也, 近藤晃, 青松昭徳, 菅波由有, 北川泉, 小林修三: 急性リチウム中毒患者6例の検討. 第599回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 9.
 8. 熊谷知博, 十倉満, 菅波由有, 北川泉, 小林修三: 腰痛を主訴に来院した細菌性髄膜炎の1例. 第599回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 9.
 9. 細川恭佑, 谷川徹也, 角谷拓哉, 菅波由有, 北川泉, 小林修三: アトピー性皮膚炎患者に発症した感染性心内膜炎の1例. 第599回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 9.
 10. 近藤晃, 小林修三, 北川泉, 谷川徹也, 渡邊晋二: 断食によりWernicke脳症を発症した1例. 第600回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 10.
 11. 平田友美恵, 魚嶋晴紀, 宮本雄気, 北川泉, 賀古眞: テストステロン投与により生じた肥大型心筋症の一例. 第601回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 11.
 12. 浦山将司, 照井仁, 菅波由有, 北川泉, 小林修三: 帯状疱疹に髄膜炎を合併した1例. 第601回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 11.
 13. 上原幸治, 西口翔, 稲田悠, 谷川徹也, 中川佳子, 田口雄一郎, 菅波由有, 北川泉, 川田純也, 賀古眞. 第602回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013, 12.
 14. 佐藤淑, 和足孝之, 魚嶋晴紀, 堤大夢, 北川泉, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 皮膚疾患「集学的治療を用いて救命し得た重症中毒性表皮壊死症の一例. 医工学治療学会, 横浜, 2013, 4.
 15. 西野宏一, 西口翔, 佐藤友英, 中川佳子, 菅波由有, 北川泉: 窒息による一過性低酸素血症後に遅発性低酸素性白質脳症を来した84歳男性の一例. 日本プライマリ・ケア連合学会, 仙台,

- 2013, 5.
16. 和足孝之, 西口翔, 中川佳子, 菅波由有, ジョエル・ブランチ, 北川泉: 急性期総合病院における内科当直時の病棟callの検討. 日本プライマリ・ケア連合学会, 仙台, 2013, 5.
 17. 所晋之助, 西口翔, 中川佳子, 菅波由有, 北川泉: 食欲不振で受診した尋常性天疱瘡による難治性口内炎の一例. 日本プライマリ・ケア連合学会, 仙台, 2013, 5.
 18. 菅波由有: 市中病院初期研修プログラムにおける高齢者医療の位置づけ～研修医へのアンケート実施と教育プログラム調整の有用性～. 日本老年医学会, 大阪, 2013, 6.
 19. 川田純也, 西口翔, 北川泉: 顔面頸部を中心とする異常運動を認めた慢性肝障害を持つ70歳代後半女性の一例. パーキンソン病・運動障害疾患コンgres, 東京, 2013, 10.
 20. 伊藤亮治, 和足孝之, Joel Branch, 西口翔, 菅波由有, 北川泉, 小林修三: The Difficulty in Differentiating Infective Endocarditis(IE) from nonendobacterial Thrombotic Endocarditis(NBTE). Society Of General Internal Medicine, Denver, 2013, 4.
 21. 和足孝之, Joel Branch, 佐藤淑, 魚嶋晴紀, 堤大夢, 北川泉, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: Successful combination therapy of corticosteroids, plasma exchange and intravenous immunoglobulin for severe toxic epidermal necrolysis. Society Of General Internal Medicine, Denver, 2013, 4.
 22. 十倉満, 岩田智則, 森貴久, 宮崎雄一, 中崎雅宏, 高橋陽一郎: Clinical outcome following DWI/MRA-based intravenous HPA in acute ischemic stroke patients. European Stroke Conference, London, 2013, 5.
 23. 伊藤亮治, 森貴久, 岩田智則, 宮崎雄一, 中崎公仁, 高橋陽一郎: Where should we direct our efforts among a few in hospital steps from ER arrival to achieve faster recanalization in acute ischemic stroke?. European Stroke Conference, London, 2013, 5.
 24. 和足孝之, 北川泉, 徳田安春: Is this cold or not cold? That is problem. Diagnostic Error In Medicine, Chicago, 2013, 9.
 25. 稲田悠, 西口翔, 和足孝之, Joel Branch, 北川泉, 徳田安春: Pulmonary Embolism with Atypical Symptoms Mimics Pneumonia. Diagnostic Error In Medicine, Chicago, 2013, 9.
 26. T Shimizu, M Ueoka, S Kosaka, K Matsumoto, T Watari, Y Tokuda: A Remedy on Diagnostic Process for the "Masquerade" Diseases. Diagnostic Error In Medicine, Chicago, 2013, 9.
 27. 富山周作, 魚嶋晴紀, 金原猛, 北川泉, 賀古眞: A case with reactivation of hepatitis B virus. 米国内科学会日本支部, 京都, 2013, 5.
 28. 渡邊晋二, 工藤まどか, 佐藤公俊, 西口翔, 谷川徹也, ジョエル・ブランチ, 菅波由有, 北川泉, 小林修三: Leptomeningeal metastases from gastric carcinoma. 米国内科学会日本支部, 京都, 2013, 5.